

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月15日 事業所名 _____ ネクストステップ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			会議の内容に応じて、出席者を相談し決めている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			学校への送迎時に担任の先生と情報共有を行うように努めている。	
関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			利用開始までに、主治医や緊急時の対応方法など連絡体制を確認している。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		該当者がいないため、判断できず。	必要時に対応できるように、対応方法を整備していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		該当者がいないため、判断できず。	必要時に対応できるように、対応方法を整備していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			発達支援アドバイザー派遣事業を利用し、助言を受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			事業所内の学童保育と交流行事を通して一緒に活動する機会を持っている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			能美市子ども連絡会や事業所連絡会に定期的に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳や送迎時、モニタリングの機会などを通して情報共有を行うように努めている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			姿勢や遊びに関する事、生活場面において出来るようなこと(自助具の提案)など必要に応じて支援を行っている。	利用者のニーズに合わせて対応できるように、研修などに参加し支援体制を整えていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			利用開始前に説明を行っている。また、施設内に掲示している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			連絡帳や送迎時、モニタリングの機会などを通して情報共有するように関わっている。より適切に対応できるように研修などに参加し自己研鑽を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			能美市子育てネットワークと共催で「ゆるにこサロン」を行っている。	「ゆるにこサロン」をおこなっているが、利用者への周知がいきわたっていないためおたよりなどを通して周知できるようにする。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			契約時に説明し、施設内にも苦情窓口などを記載したものを掲示してある。また、早急に対応できるように事業所内の連絡体制を決めている。必要に応じて、ミーティングを行いスタッフ間で共有できるようにしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月「おたより」を発行し、活動内容や翌月の活動予定を伝えている。	
	35	個人情報に十分注意している	○			関係機関と連携する際には、家族に了解を得るようにしている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			必要に応じて絵カードやジェスチャー、筆談などを使い意思疎通が取れるように対応している。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月15日

事業所名 ネクストステップ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		事業所単独では行っていないが、G-Hillsとして地域の方が参加できるようなイベントを行っている。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			契約時に説明している。事業所ないで定期的にマニュアルを見直し対応している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年に2回以上避難訓練を行っている。	
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切に対応している	○			事業所内で虐待防止の研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		該当者がいないため、判断できず。	必要時に対応できるように、対応方法を整備していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			食物アレルギーがある場合は、書類の記載を依頼している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット・事故報告書を作成し、事業所内で共有し対応策を立てている。	